

固定資産課税
台帳の縦覧について

地方税法第四百十五条规定第一項た
だし書きの規定により昭和五十一
年度固定資産課税台帳の縦覧期間
を次のとおり定め関係者の縦覧に
供します。

昭和五十一年四月一日

五城目町長 加賀谷力司

記

一、縦覧期間

昭和五十一年四月十一日から

昭和五十一年四月三十日まで

二、縦覧場所

五城目町役場(税務課内)

広報

ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876) 代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行



卒業式の今昔

町内の中小学校の卒業式は、3月16日からはじまり19日で終つた。卒業式に参加してみると、その進行と内容にはまさに今昔の感を覚える。昔は町内名士の訓辞めいたいさつが長々と続いた。今は当然のことながら卒業生とその父兄を主体にしようとする配慮が感じられる。簡潔な中におそかさがあり、しかも短時間で終る。児童生徒も式典中泣きやくる光景も見られず、サラリとしたもので、さすが現代子らしい。少し前は「仰げば尊し」を唱う頃特に女子生徒は、目を真赤にし、鼻をすすりあげ、無言の中にも母校との別れのつらさを表現したものである。

変らぬ先生と生徒のきずな

しかし、いよいよ学校を去る時になって、校庭で見送る恩師下級生に励ましの言葉をかけられると、今までこらえていたものがドッとあふれ忍び泣く姿は、今も昔も変らぬ先生と生徒の心のきずなをかい間みるようですがすがしかった。

友情は大切に
今別れるとも

風土で培かれた純粋で深い友情
小学校や中学校に在学中は、自分たちの学んでいるこの期間が人生の中でも非常に大事な時間帯であるという意識は殆どない。あの時もっと勉強しておればよかったと思うのは、大人になって社会に出てから実感として湧いてくる。今年の中学校卒業生の進学率が98%だといわれるが、高校、大学のクラスメートより何時までも名前を忘れないのが、小中学校のクラスだとされる。それだけに長く生活した風土で培かれた友情は、純粋で深いものがある。

友だちを何時までも大事に

年々近隣社会の結びつきが薄くなり、都市化されるほど人間の孤独、孤立化が指摘されているが、この社会を生き抜くためには、自給自足出来る体制はすでに失なわれており、人間の結びつきがいかにスムーズさを保つかが、その人を、その町を、進歩発展させることに結びつくことを思えば、今までの友情を長く大事に育てあげていくことが、やがては自分の生き方に貴重な形になって帰ってくる事を卒業式にあたって考えてみたい

日増しに変っていく社会情勢の中で、町政に対する町民の要望も非常に多様化しています。こうした社会現象を新しい議員のみなさんはしっかりと受けとめて、住民の声を議会に反映させてほしいと思います。ともすれば選挙演説用に草稿された公約だけに終り住民と直接に語り合う機会もなく住民の意志を吸収しようとする姿勢が見えなかつた過去の例を残念に思っている一人です。住民の行政費用を調査したり、対話を求め四年間に終始していく議員を、私たちが必要としているのです。

ガラス張りの市政を望むことはもちろんですが、他人のやった事を非難するだけでは、その本人の議会活動の次元の低いことを披瀝しているだけで、魅力がありません。公約の不履行は、議員不信、議会軽視につながります。広く住民の声に耳を傾け、高い次元での発想で、明るくフレッシュな「五城目町」の育成に励んでくれること

△広報サロン

次元の高い発想で
明るい町づくりで

富津内 伊藤美喜子



24名の新選良決る

～新人台頭著しく8人投票率92.65%～

投票率前回

○・〇%下回る

去る三月十七日告示さ

れた町議会議員の選舉は二十四の議席に対して二十五回の立候補者があり近年にない激しい選挙戦を開いた。

当日の有権者数一萬二千二百八十三人（男五千八百二人、女六千四百八十一人）となっているが、投票率は男九一・五〇

三%、女九三・六七%計九三・六九%となつて

いる。これは前回の投票率を○・〇五%下回つて

いる。

平日投票でも
少數激戦を反映

内二十五回町村ミニ統一選挙で、しかも平日の投票率を心配したが、ほん前回の程度にとどまつて、これは町民に最も身近かで関心の深い選挙であったことと、少數激戦であったことを示唆している。

投票率に心配したが、ほん前回の程度にとどまつて、これは町民に最も身近かで関心の深い選挙であったことと、少數激戦であったことを示唆している。

不在者投票制度の理解不足

なお何時今回の選挙でも問題になるのは不在者投票である。今回の選挙でも問題点をあげてみると、出かせぎ者が不在者投票をするための代理請求をしながら、投票用紙が届く前に家に帰ってしまった人。これはその投票用紙を選挙管理委員会に返却しない限り、その人は投票できなくなるので、貴重な一票が放棄される事態を生んでいる。

現地の選管手続き忘れないで

また投票用紙を受け取りながら、現地の選管手続き忘れないで投票しなければならない手続をしないで、自分が投票用紙を送り返して無効になった人もいる。この場合は、出かせぎ先の選挙管理委員会

で投票し、不在者投票管

理者や立会人の署名が必

要である。

自分の名前は確実に

三、その他、投票用紙を入

れる外袋に自分の名前を書き忘れれば無効になつたなど、制度の理解が不

足なため、尊い参政権を無駄にする例が多い。

で投票し、不在者投票管

理者や立会人の署名が必

要である。

自分の名前は確実に

三、その他、投票用紙を入

れる外袋に自分の名前を

書き忘れれば無効になつたなど、制度の理解が不

足なため、尊い参政権を無駄にする例が多い。

で投票し、不在者投票管

理者や立会人の署名が必

要である。

自分の名前は確実に

三、その他、投票用紙を入

4月 ごみ収集日

4月						
町名	1回	2回	3回	4回	5回	
希望ヶ丘	1	7	15	21	27	
田町	1	7	15	21	27	
広ヶ野町	1	7	15	21	27	
今町	1	7	15	21	27	
御祓町	1	7	15	21	27	
小池町	1	7	15	21	27	
川原町	1	7	15	21	27	
新町	2	8	16	22		
一番町	2	8	16	22		
古川町	2	8	16	22		
紀久栄町	2	8	16	22		
中川原町	2	8	16	22		
館町	2	8	16	22		
岩城町	2	8	16	22		
築地町	3	9	17	23		
烟畠町	3	9	17	23		
新畠町	3	9	17	23		
矢場町	3	9	17	23		
仲町	5	10	19	24		
長町	5	10	19	24		
米沢町	5	10	19	24		
崔原町	5	10	19	24		
昭辰町	5	10	19	24		
入川一区	6	12	20	25		
二区	6	12	20	25		
三区	6	12	20	25		
四区	6	12	20	25		
富津内	13	28				
内川	13	28				
馬場	自	13	28			
大川	14	30				
(本村以外の部落)						
面潟	14	30				
馬川	14	30				

1 廃棄物は袋、標識のないものは収集されませんので必ずつけるよう協力ください。
2 廃棄物を直接搬入する際は必ず焼却場へ前もって連絡してください。(電3958)
3 廃棄物一箱の大きさは、リンゴ箱程度に定めていますから守ってください。
4 廃棄物収集所には収集当日午前8時までに。
5 焼却場休みの時は直撤致せませんので、よろしくご協力をお願いします。

寄付したもの
冬期不用品充
教室主催の
城目町消費者
会連合会、五
上金の一割を

「娘」なるほど、でも来年のこと

一生のことを設計するなんて。

「父」いや解らないから、目標をもって計画的に、生きていこうではないかというので、日本人の当たり的生き方の反省の時なんですね。

「父」それそろ聞答もおわりにしよう。そこで最後に人生そのものを持ち話してみよう。

あれはどんなことなの

「娘」三木首相がライフ

サイクルと生涯教育に

ついて話していますね

話を会ってみよう。

「娘」わたしも、無計画な生き方をしているわけではないよ。

こんな世の中が混とんとしてくると計画が意味をなさなくな

るのではと思うのよ。

「父」そうね、国民の生

活のリズムに合わせて、

いつも学環境でいける

よう、国境を越えて

いこうということらしいね。

「娘」なるほど、国の施策として

考へていることなのですね。

「父」井波文相も、生涯教育推進

のための構思を提案しているね

こうなつてくると一人一人が、

生涯学びづける実践計画を立

てねばならなくなるね。

「娘」ライフルサイクリのモデルが

でていましたね。

「父」そうだ。昭和十五年の夫婦

のライフモデルは、夫二四・八

才、妻二〇・八才で結婚し、平

均五人の子を産み、夫の定年が

五二才となっている。それが、

昭和四八年では、夫二六・二

才、妻三三・一才で結婚三子を

産み、夫は五五才の定年となつ

ている。

こうしたことを考えて、自己

の生活設計を立て、その中に生

涯学習などをとり入れていくべ

きか、家族みんなで話し合って

いくべきなのです。

「娘」なるほど、でも来年のこと

一生のことを設計するなんて。

「父」いや解らないから、目標を

もって計画的に、生きていこう

ではないかというので、日本人

の当たり的生き方の反省の時な

んですね。

「娘」わたしも、無計画な生き方

をしているわけではないよ。

こんな世の中が混とんとして

くると計画が意味をなさなくな

るのではと思うのよ。

「父」そうね、今こそんなが、

心がけて人生設計を立て、生涯

設計を持ち、目的をもって生き

ねばならないよ。

「娘」わたくしも、無計画な生き方

をしているわけではないよ。

こんな世の中が混とんとして

くると計画が意味をなさなくな

るのではと思うのよ。

「父」それで、三木首相のライフ

サイクルが、国民のものとなり

國民的自覺が高まるというもの

ね。

「娘」それで、今こそんなが、

心がけて人生設計を立て、生涯

設計を持ち、目的をもって生き

ねばならないよ。

「父」それで、三木首相のライフ

サイクルが、國民のものとなり

國民的自覺が高まるというもの

ね。

「娘」それで、今こそんなが、

心がけて人生設計を立て、生涯

設計を持ち、目的をもって生き

ねばならないよ。

「父」それで、三木首相のライフ

サイクルが、國民のものとなり